



システム メッセージの概要

このマニュアルでは、Catalyst 3560 固有のシステム メッセージについて説明します。これらのメッセージは稼働中、システム ソフトウェアからコンソール（および任意で別のシステムのログイン サーバ）に送信されます。すべてのシステム メッセージがシステムの問題を意味するわけではありません。純粋に通知目的のメッセージもあれば、通信回線、内蔵ハードウェア、またはシステム ソフトウェアの問題を診断するうえで役立つメッセージもあります。このマニュアルでは、システムで障害が発生した場合に表示されるエラー メッセージについても説明します。

Catalyst 3560 プラットフォーム固有ではないシステム メッセージについては、『*Cisco IOS Software System Messages for Cisco IOS Release 12.2S*』を参照してください。

この章の内容は次のとおりです。

- システム メッセージの読み方 (p.1-2)
- エラー メッセージ トレースバック レポート (p.1-5)

システムメッセージの読み方

システムログメッセージは最大 80 文字とパーセント記号 (%) で構成され、設定されている場合にはその後ろに、オプションのシーケンス番号またはタイムスタンプ情報が続きます。メッセージは次の形式で表示されます。

シーケンス番号: タイムスタンプ: % ファシリティ- 重大度- ニーモニック: 記述

システムメッセージ出力はデフォルトで、ロギングプロセスに送信されます。

各システムメッセージはパーセント記号 (%) から始まります。構造は次のとおりです。

% ファシリティ- 重大度- ニーモニック: メッセージテキスト

- ファシリティは2つ以上の大文字からなり、メッセージが関連するファシリティを示すコードです。ファシリティはハードウェア デバイス、プロトコル、またはシステム ソフトウェア モジュールになる可能性があります。表 1-1 に、Catalyst 3560 固有のファシリティ コードを示します。第2章「メッセージおよび回復手順」で、ファシリティコードのアルファベット順、重大度の高い（数字が小さい）エラーから先に、各メッセージについて説明します。

表 1-1 ファシリティコード

ファシリティコード	説明	参照先
ACLMGR	ACL (アクセス制御リスト) マネージャ	「ACLMGR メッセージ」 (p.2-3)
BSPATCH	ブートローダパッチ	「BSPATCH メッセージ」 (p.2-7)
CMP	Cluster Membership Protocol	「CMP メッセージ」 (p.2-8)
DHCP_SNOOPING	DHCP スヌーピング	「DHCP_SNOOPING メッセージ」 (p.2-9)
DOT1X	IEEE 802.1x	「DOT1X メッセージ」 (p.2-12)
DTP	Dynamic Trunking Protocol	「DTP メッセージ」 (p.2-18)
EC	EtherChannel	「EC メッセージ」 (p.2-20)
ETHCNTR	イーサネットコントローラ	「ETHCNTR メッセージ」 (p.2-24)
EXPRESS_SETUP	Express Setup	「EXPRESS_SETUP メッセージ」 (p.2-25)
GBIC_SECURITY	GBIC (ギガビットインターフェイスコンバータ) モジュールおよび Small Form-factor Pluggable (SFP) モジュールのセキュリティ	「GBIC_SECURITY メッセージ」 (p.2-26)
GBIC_SECURITY_CRYPT	GBIC/SFP モジュールセキュリティ	「GBIC_SECURITY_CRYPT メッセージ」 (p.2-27)
GBIC_SECURITY_UNIQUE	GBIC/SFP モジュールセキュリティ	「GBIC_SECURITY_UNIQUE メッセージ」 (p.2-28)
HARDWARE	ハードウェア	「HARDWARE メッセージ」 (p.2-29)
HLFM	ローカルフォワーディングマネージャ	「HLFM メッセージ」 (p.2-31)
IDBMAN	インターフェイス記述ブロックマネージャ	「IDBMAN メッセージ」 (p.2-32)
IGMP_QUERIER	Internet Group Management Protocol (IGMP) クエリア	「IGMP_QUERIER メッセージ」 (p.2-35)
ILPOWER	Power over Ethernet (PoE)	「ILPOWER メッセージ」 (p.2-36)
MAC_LIMIT	MAC アドレステーブルエントリ	「MAC_LIMIT メッセージ」 (p.2-38)
MAC_MOVE	ホストアクティビティ	「MAC_MOVE メッセージ」 (p.2-38)
PHY	PHY	「PHY メッセージ」 (p.2-39)
PIMSN	Protocol Independent Multicast (PIM) スヌーピング	「PIMSN メッセージ」 (p.2-41)
PLATFORM	下位レベルプラットフォーム固有	「PLATFORM メッセージ」 (p.2-41)

表 1-1 ファシリティコード (続き)

ファシリティコード	説明	参照先
PLATFORM_FBM	プラットフォーム フォールバック ブリッジング マネージャ	「PLATFORM_FBM メッセージ」 (p.2-42)
PLATFORM_HPLM	プラットフォーム疑似ラベル マネージャ	「PLATFORM_HPLM メッセージ」 (p.2-43)
PLATFORM_PBR	プラットフォーム Policy-Based Routing (PBR; ポリシーベースルーティング)	「PLATFORM_PBR メッセージ」 (p.2-44)
PLATFORM_PM	プラットフォームのポート マネージャ	「PLATFORM_PM メッセージ」 (p.2-46)
PLATFORM_SPAN	プラットフォーム Switched Port Analyzer (SPAN; スイッチドポートアナライザ)	「PLATFORM_SPAN メッセージ」 (p.2-47)
PLATFORM_UCAST	プラットフォームのユニキャストルーティング	「PLATFORM_UCAST メッセージ」 (p.2-47)
PLATFORM_VLAN	プラットフォーム VLAN (仮想 LAN)	「PLATFORM_VLAN メッセージ」 (p.2-49)
PM	ポート マネージャ	「PM メッセージ」 (p.2-50)
PORT_SECURITY	ポートセキュリティ	「PORT_SECURITY メッセージ」 (p.2-57)
QOSMGR	Quality of Service (QoS; サービス品質) マネージャ	「QOSMGR メッセージ」 (p.2-58)
RMON	Remote Network Monitoring (RMON)	「RMON メッセージ」 (p.2-63)
SPAN	SPAN	「SPAN メッセージ」 (p.2-63)
SPANTREE	スパニングツリー	「SPANTREE メッセージ」 (p.2-64)
SPANTREE_FAST	スパニングツリー高速コンバージェンス	「SPANTREE_FAST メッセージ」 (p.2-71)
SPANTREE_VLAN_SW	スパニングツリー VLAN スイッチ	「SPANTREE_VLAN_SW メッセージ」 (p.2-71)
STORM_CONTROL	ストーム制御	「STORM_CONTROL メッセージ」 (p.2-72)
SUPERVISOR	スーパーバイザ ASIC (特定用途向け IC)	「SUPERVISOR メッセージ」 (p.2-72)
SUPQ	スーパーバイザ キュー	「SUPQ メッセージ」 (p.2-73)
SW_DAI	ダイナミック ARP インспекション	「SW_DAI メッセージ」 (p.2-75)
SW_VLAN	VLAN マネージャ	「SW_VLAN メッセージ」 (p.2-77)
SWITCH_QOS_TB	QoS 信頼境界	「SWITCH_QOS_TB メッセージ」 (p.2-83)
TCAMMGR	Ternary CAM (TCAM) マネージャ	「TCAMMGR メッセージ」 (p.2-83)
UDLD	UniDirectional Link Detection (UDLD; 単一方向リンク検出)	「UDLD メッセージ」 (p.2-85)
UFAST_MCAST_SW	UplinkFast パケット伝送	「UFAST_MCAST_SW メッセージ」 (p.2-87)
VQPCIENT	VLAN Query Protocol (VQP) クライアント	「VQPCIENT メッセージ」 (p.2-87)

- 重大度は0～7の1桁のコードで、状況の重大度を表します。数字が小さいほど深刻な状況です。表 1-2 に、メッセージの重大度を示します。

表 1-2 メッセージの重大度

重大度	説明
0 — 緊急	システムは使用不能
1 — 警報	即時処置が必要
2 — クリティカル	クリティカル状態
3 — エラー	エラー状態
4 — 警告	警告状態
5 — 通知	正常だが注意を要する状態
6 — 通知	単なる通知メッセージ
7 — デバッグ	デバッグ時に限り表示されるメッセージ

- ニーモニックは、メッセージを一意のものとして特定するコードです。
- メッセージテキストは状況を記述した文字列です。メッセージのこの部分には、端末ポート番号、ネットワークアドレス、またはシステムメモリアドレススペースの位置に対応するアドレスなど、イベントの詳細情報が含まれることがあります。この可変フィールドの情報はメッセージごとに異なるので、ここでは短い文字列を角カッコ ([]) で囲んで示します。たとえば10進数は [dec] で表します。表 1-3 に、メッセージの可変フィールドを示します。

表 1-3 メッセージの可変フィールドの表記

表記	情報のタイプ
[dec]	10進整数
[char]	単一文字
[chars]	文字列
[enet]	イーサネットアドレス (たとえば 0000.FEED.00C0)
[hex]	16進整数
[inet]	インターネットアドレス

次の例は、スイッチ システム メッセージの一部です。

```
00:00:46: %LINK-3-UPDOWN: Interface Port-channel1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet0/1, changed state to up
00:00:47: %LINK-3-UPDOWN: Interface GigabitEthernet0/2, changed state to up
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface Vlan1, changed state to down
00:00:48: %LINEPROTO-5-UPDOWN: Line protocol on Interface GigabitEthernet0/1, changed
state to down 2
*Mar  1 18:46:11: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
18:47:02: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2 (10.34.195.36)
*Mar  1 18:48:50.483 UTC: %SYS-5-CONFIG_I: Configured from console by vty2
(10.34.195.36)
```

エラーメッセージトレースバックレポート

メッセージの中には、内部エラーが記述され、トレースバック情報が含まれているものがあります。この情報は非常に重要です。テクニカルサポートの担当者に問題を報告するときに、必ず提出してください。

次のメッセージ例にはトレースバック情報が含まれています。

```
-Process= "Exec", level= 0, pid= 17  
-Traceback= 1A82 1AB4 6378 A072 1054 1860
```

システムメッセージによっては、エラーメッセージをコピーしたうえで対処することが要求されます。次のオンラインツールからシステムエラーメッセージの詳細を得ることもできます。

Output Interpreter

Output Interpreter は、**show tech-support** イネーブル EXEC コマンドなど、さまざまな CLI（コマンドライン インターフェイス）コマンドの出力に基づいて、詳細情報および推奨対応策を提供します。Output Interpreter には、次の URL からアクセスしてください。

<https://www.cisco.com/cgi-bin/Support/OutputInterpreter/home.pl>

Bug Toolkit

Bug Toolkit は、未解決の問題および解決済みの問題に関する情報を提供します。特定の Cisco IOS リリースで既知のあらゆるバグを検索できます。Bug Toolkit には、次の URL からアクセスしてください。

<http://www.cisco.com/cgi-bin/Support/Bugtool/home.pl>

TAC への連絡

エラーの性質を判断できない場合は、「[テクニカルサポート](#)」(p.xiii) を参照してください。

■ エラーメッセージトレースバック レポート